

平成 27 年度事業概況報告書

平成 27 年 4 月 1 日

平成 28 年 3 月 31 日

平成27年度の日本の景気は一部に弱さも見られたもののおおむね緩やかな回復基調にあった年であった。個人消費は一昨年消費増税の影響も一蹴し総じてみれば底堅い動きといえる。特に企業収益に関する経済諸指標は改善傾向にあることを示しており、雇用情勢も改善傾向が続いている。先行きについて政府は各種施策の効果もあって緩やかに回復に向かうことを期待しているものの米国の金融政策の影響から中国をはじめとしたアジア新興国等の景気が下振れし、我が国経済の景気を冷やすリスクを指摘している。

一方、昨年は当協会会員企業の事業に影響する大きな出来事があった。TPP（環太平洋戦略的経済連携協定）が日本を含め大筋合意に達したことである。乳業界の今後の競争環境に大きな変化が伴うと予想され注視する必要がある。他方、政府によるHACCPの義務化、将来のポジティブリスト化を見据えた自主管理ガイドライン案の策定に向けた厚生労働科学研究におけるワーキンググループなどグローバル化（ハーモナイゼーション）への対応はより具体的となりそれぞれの業界、団体が近い将来に自ら一步を踏み出す準備としてしっかりと情報をとらえ準備を進める必要がでてきた。

そのような外的環境の変化の中で当協会においては、会員企業2社が共に会員企業の事由により退会したことで財務基盤の見直しが喫緊の課題となった。平成27年度の計画達成に向けて支出の見直しを予算やこれまでの慣例にとらわれることなく進め、協会だよりの電子化、オープンセミナー案内の電子化を始め購入資料の見直し、会員セミナー懇親会費の見直しなどを行った。技術分野では当協会の目的である公衆衛生の向上に資するための活動として、異物混入対策シートのとりまとめ（乳機器部会）、オフセット印刷に用いられる光重合開始剤（UVPI）に対する自主基準の改定、厚生労働科学研究への委員の派遣を通し厚生労働省が推し進めている自主管理ガイドライン策定への貢献など当協会が持つ強みを活かして積極的に活動を展開した。

また、オープンセミナーではTPP及びフードディフェンスをテーマに公益目的事業としての活動を行った一方、会員セミナーにおいては自主管理ガイドライン策定の動きに至った背景を厚生労働省基準審査課より講演いただくなど会員企業の事業に関連する情報提供の充実を図った。なお厚生労働科学研究の議論の状況について、全部会会員を対象に説明会を実施し情報の鮮度にもこだわった。協会運営については理事・監事間の親睦、意思疎通の向上による充実を図るため「理事・監事懇談会」を実施することで横のつながりを強化するための活動を行った。

本年度の主な活動内容は以下の通りです。

1. 平成 27 年 5 月 27 日に第 4 回定時社員総会を開催した。
2. 平成 27 年 10 月 6 日に 5 回目の開催となるオープンセミナーを「食をとりまく環境と安全について」をテーマに公益目的事業として実施し、非協会員を含む約 100 名の参加者があった。
3. 平成 27 年 10 月 13 日に小人数円卓型の第 6 回乳機器部会懇話会を日本乳業協会伊東技術部長にご臨席いただき実施した。
4. 平成 27 年 11 月 10 日理事会において協会だよりの電子化を決議いただき財務基盤の維持、強化に向けた重要な施策の承認を図った。
5. 平成 27 年 12 月 14 日に理事・監事間の親睦、意志疎通の向上を図るために懇談会を開催した。
6. 平成 28 年 1 月 26 日に会長理事出席のもと関西地域の会員を対象に協会活動の状況と会員間の懇親を図ることを目的に関西ブロック会議を行った。
7. 平成 28 年 2 月 15 日に厚生労働科学研究「器具・容器包装の製造に係る自主管理ガイドライン案の作成」における活動状況について全部会会員を対象に説明会を行った。
8. 平成 28 年 2 月 23 日に会員向けの情報提供に特化した会員向けセミナーを厚生労働省基準審査課 山本課長より講演いただき約 50 名の参加者があった。
9. 協会だよりについては平成 28 年 1 月号より電子化移行期間として電子メールによる協会だより配信をスタートさせた。3 月号までの移行期間を踏まえ、5 月号からは電子的に協会だよりをお受け取りになれない会員を除いて協会だよりの電子化完全実施を図る。
10. 事業企画小委員会は正会員 2 社の退会による財務基盤の大きな変化に伴い、平成 30 年度のゴールとそこに至るまでのロードマップ等の項目について見直しを行った。更に平成 28 年～30 年度ロードマップを策定した。併せてこれらにつき理事会への答申を行った。
11. 技術統括委員会は平成 27 年 7 月にバグインボックスの試験方法について自主基準を改定した。また、オフセット印刷に用いられる光重合開始剤（UVPI）に対する自主基準の策定を行った。
12. 紙容器部会においてはオフセット印刷に用いられる光重合開始剤（UVPI）に対する自主基準の策定に向けた準備作業として印刷インキ工業連合会との定期的な打ち合わせ等を実施した。
13. 乳機器部会は乳機器に起因する異物混入対策の一環として、異物混入対策シートを全国農協乳業協会、一般社団法人日本乳業協会といったユーザー団体との意見交換を重ね一覧表を作成した。
14. 厚生労働省基準審査課、監視安全課、東京都健康安全研究センターには適確な情報提供を行うとともに当協会に関連する情報収集に努め必要な情報の協会会員へのタイムリーな提供を行った。
15. 当協会に関連する重要な事項について、一般社団法人日本乳業協会、全国飲用牛乳公正取引協議会、一般社団法人全国発酵乳乳酸菌飲料協会、公益財団法人日本乳業技術協会、ポリオレフィン等衛生協議会等と必要な情報の交換を行った。

今後も国民の健康と食の安全に資する取組みを主軸に活動を進めて参ります。以上

附属明細書：事業活動の詳細

1. 第4回定時社員総会

平成27年5月27日（水）第4回定時社員総会開催（KKRホテル東京）

正会員39社出席（委任状出席15社含む）

- (1) 採択事項：
 - ①平成26年度事業概要報告及び決算書の件
 - ②平成27-29年度ロードマップの件
 - ③理事及び監事選任の件
- (2) 報告事項：
 - ④平成27年度事業計画書及び予算書の件
 - ⑤事業企画小委員会答申の件
 - ⑥乳機器部会活動報告の件

2. 主な活動

(1) 技術統括委員会

バッグインボックスの技術的問い合わせに対応し自主基準の見直しを行い改定を行った（7月）。乳等の飲料用紙パックに使用されているオフセット印刷インキに含まれる光重合開始剤について、紙容器WGが中心となって印刷インキ工業連合会と定期的な会合を開催し自主基準を策定した。（3月）

厚生労働科学研究「合成樹脂製器具・容器包装の製造に関する自主管理ガイドライン案の作成」に委員を派遣し、近い将来のポジティブリスト化を前提とした動きに技術的側面から業界の意見を伝えると同時にその進捗について協会会員を対象に「説明会」を開催し情報の適切な伝達に努めた（2月）。

(2) 乳機器部会

異物混入対策シートについてユーザー側の意見を取り入れるべく全国農協乳業協会との意見交換会（7月）を実施、さらに日本乳業協会技術部長を乳機器懇話会（10月）に招き、その中で討議するなど完成度を高め異物混入対策に資する一覧表を作成した。

(3) 事業企画小委員会

当協会の平成30年度までのロードマップに基づいて平成27年度活動について協議し合意形成を図りながら推進した。
また、平成30年度ゴール達成に向けた答申を取りまとめ、併せて平成28-30年度のロードマップ案を策定した。

3. 官公庁・関係団体などとの取り組み

(1) 厚生労働省…光重合開始剤に対する自主基準の連携。自主管理ガイドライン案の策定に向けた背景、考え方など会員セミナーを通しての連携を図った。

(2) 関係団体等…光重合開始剤、異物混入対策シートなど技術的処々の課題について日本乳業協会との情報共有、ポリオレフィン等衛生協議会との情報交換会の実施、光重合開始剤など重要課題の全国発酵乳酸菌飲料協会への情報提供。全国飲用牛乳公正取引協議会への協力（専門部会参加）、国立保健医療科学院における乳機器部会会員による講習の実施など関係団体とのネットワークの維持、活性化に努めた。

4. 広報事業の取り組み

会員に対する情報提供と非協会会員を含めた普及啓発事業の実施

(1) 第6回オープンセミナーの実施

公益目的事業として第6回オープンセミナー「食をとりまく環境と安全について」をテーマに実施した。ホームページ上でも広く案内し、非協会会員を含む100名弱が参加した。

(2) ホームページ

特に不特定多数を意識したコンテンツの充実に努めた。新着情報やお知らせのタイムリーな更新に努めた。

(3) 協会だより

協会会員の事業に係るトピックから広く外部執筆者に寄稿を求め、その充実を図ると共にホームページとのコラボを継続した。

5. 会員数

平成28年3月末現在	正会員	37社
	賛助会員	25社及び3団体
	個人賛助会員	4名
	計	62社3団体及び4個人

6. 会議等の開催状況

(1) 通常総会	平成27年 5月27日	1回
(2) 理事会		3回
(3) 事業企画小委員会		8回
(4) 技術統括委員会		9回
内、紙容器WGとの合同会合も含む		
(5) 紙容器WG		18回
内、印刷インキ工業連合会との会合も含む		
(6) 乳機器部会		11回
(7) 理事・監事懇談会		1回
(8) 厚生労働科学研究説明会		1回
(9) 乳機器部会懇話会	平成27年10月13日	1回
(10) オープンセミナー	平成27年10月6日	1回
(11) 関西ブロック会議	平成28年1月26日	1回
(12) 会員向けセミナー	平成28年2月23日	1回

以上